

令和8年度 予算の概要

滋賀県 近江八幡市

目次

令和8年度市政運営の基本方針	1 頁
当初予算額	2 頁
一般会計当初予算の推移	3 頁
一般会計当初予算の内訳	4 頁
市債と基金の状況	5 頁
主な事業の紹介	6 頁～4 2 頁
ふるさと応援寄附金活用事業の紹介	4 3 頁～5 5 頁

令和8年度市政運営の基本方針

市政運営の基本方針は変わりはありません。社会が劇的な変化を遂げ、価値観そのものも変化していく中で、従来どおりのやり方では著しく通用しない今、職員一人ひとりが基本方針を念頭に施策を企画し真に実行してまいります。

トライ・アンド・エラー
を繰り返す

穴を恐れず、試行を行い迅速に修正を加えつつ絶え間なく前進する。失敗無くして改善無し、不作為に前進無し。

常に「実行」「実現」を
前提に方策を考える

「出来ない」「やらない」の理由はいくらでも見つけることが出来る。どうすれば、どこに手を入れれば実現可能なのかを常に念頭に進める。

トップランナー集団を
目指す

最初に行うことを恐れず、先を行くものを真似、追いつこうとすることを厭わない。

補いあい、助け合う

足りないところ、出来ないところは見過ごさず、組織や与えられた役割の分掌に関わらず補いあい、助け合う。

●重点的取組施策

1. 子育て及び教育環境 の充実

まちづくりとは、つまるところ「ひとづくり」に他なりません。これまでも子育てを支援する施策については、とりわけ経済的な支援の面において充実を図ってまいりました。今後も引き続きこの流れを継続していくとともに、これからの時代に必要となる感性や、独創力、また社会に関わる力を引き出す機会を増やしていく取り組みとして、読書等によって経験の幅を広げることや、文化芸術・スポーツの推進をはじめ、多様な教育との関わりなどを通じて引き続き進めていきます。

2. 産業基盤の強化

本市の魅力発信を継続するとともに、農業を含めた地場産業と地域企業の育成を当該の主体となる市民、企業と一体感を持って進めていきます。また当市に人材を引き寄せられるような歴史・伝統や自然景観を守り育てていきます。

3. 高齢化する社会、分 化する社会に対応する行 政サービスの実現

デジタル技術等を駆使し、「いつでもどこでも自ら」の利便性や機能性の確保を図る一方で、行動の制限を受けている、また受けやすい高齢者や障がいのある方などが不安やストレスを出来る限り少なく生活を続けられるような行政サービスの実現に向けて歩みを進めていきます。

4. 持続可能な社会の実 現へのステップ

激甚化し予測が困難になりつつある自然災害等への対応力の獲得へ向けて体制強化を図っていくとともに、カーボンニュートラル実現への取り組みを引き続き進めるほか、自然環境と共生が図れる社会へ変化を進めていきます。

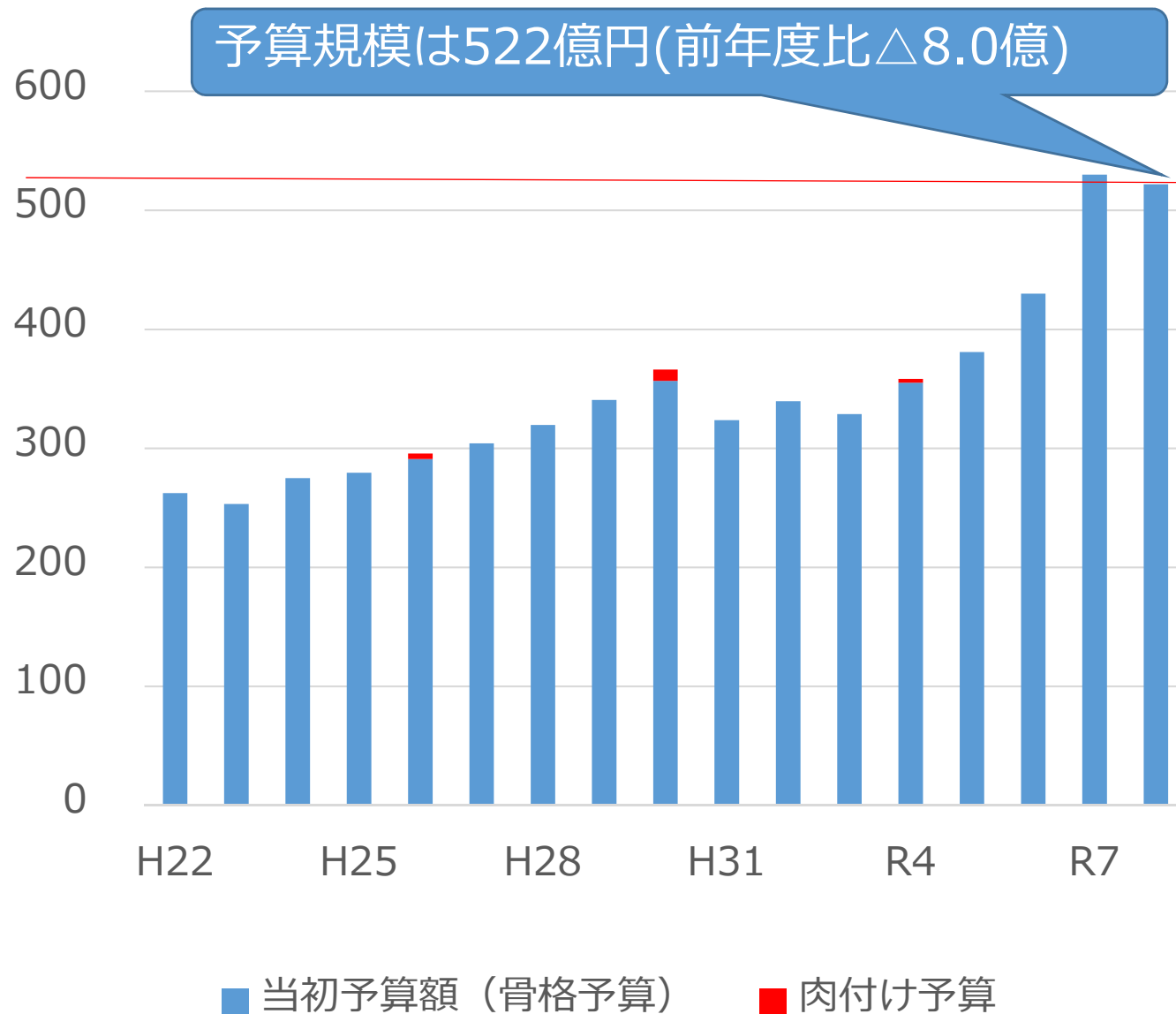
近江八幡市長 小西 理

当初予算額

会 計	令和 8 年度	令和 7 年度	増 減
一般会計	522.0億円 (※)	530.0億円	△8.0億円 (△1.5%)
特別会計 (全7会計)	170.7億円	166.5億円	+4.2億円 (+2.6%)
企業会計 (全3会計)	278.2億円	264.5億円	+13.7億円 (+5.2%)
全会計総額	970.9億円	961.0億円	+9.9億円 (+1.0%)

※本予算は『骨格予算』であり、市長選挙後の市長公約等に係る政策的経費は、6月議会定例会において『肉付け予算』として編成します。

一般会計当初予算の推移



主な特徴

安土CA整備事業が本格化するものの、八幡西中学校長寿命化整備事業のR7前倒しにより普通建設事業費は前年度並

△0.06億

GIGAスクール構想における1人1台端末の更新完了等により物件費は減少

△8.1億

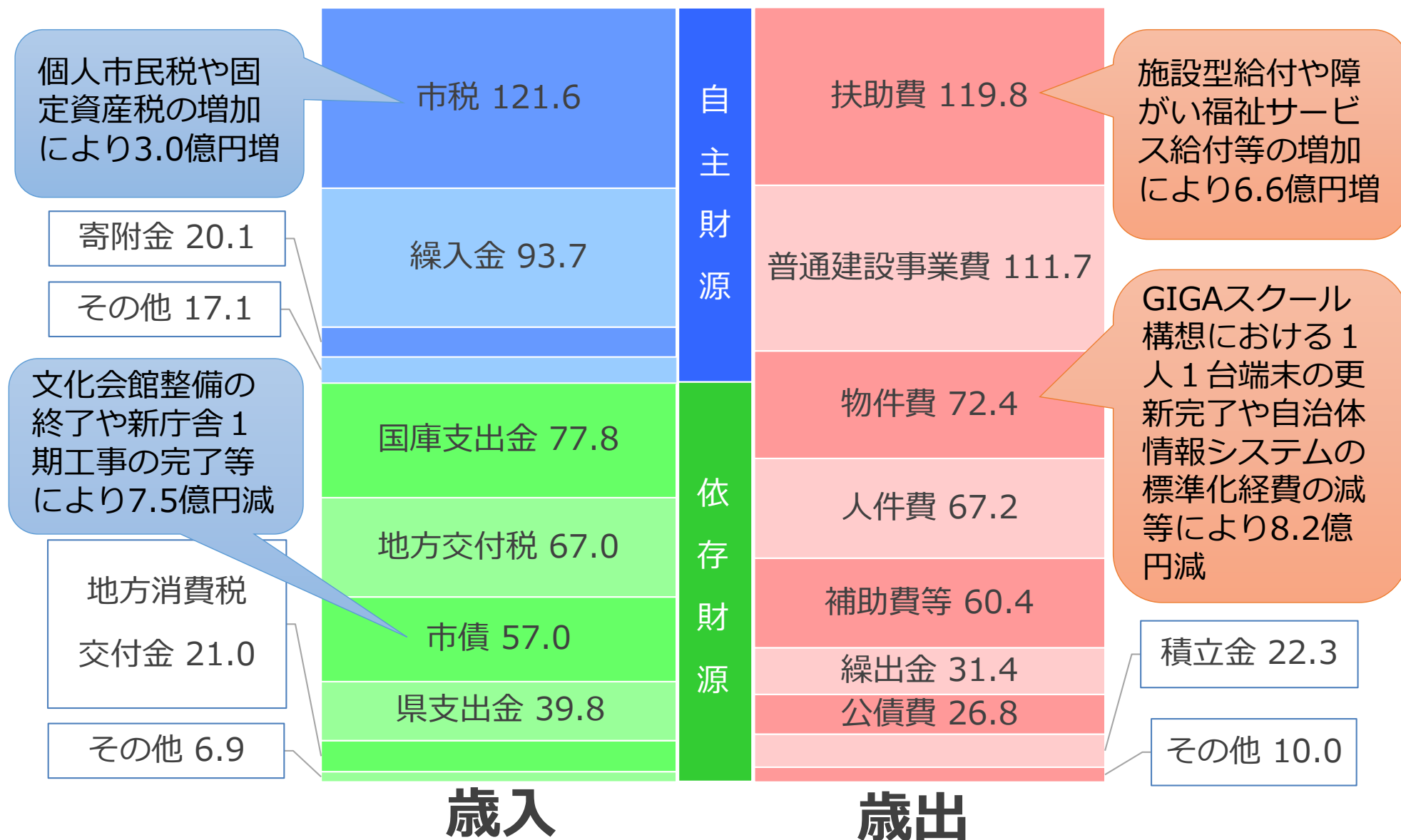
第79回国民スポーツ大会の終了等により補助費等は減少

△6.2億

義務的経費(人件費・扶助費等)の増加

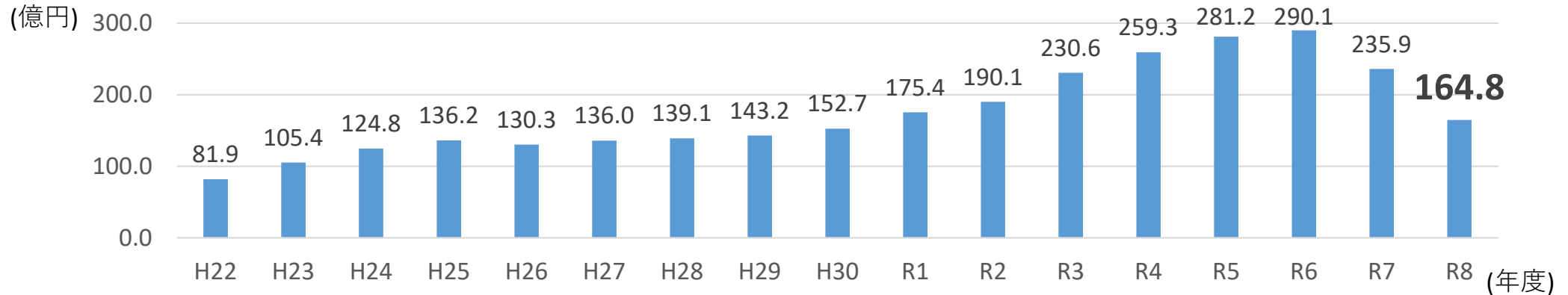
+6.2億

一般会計当初予算の内訳



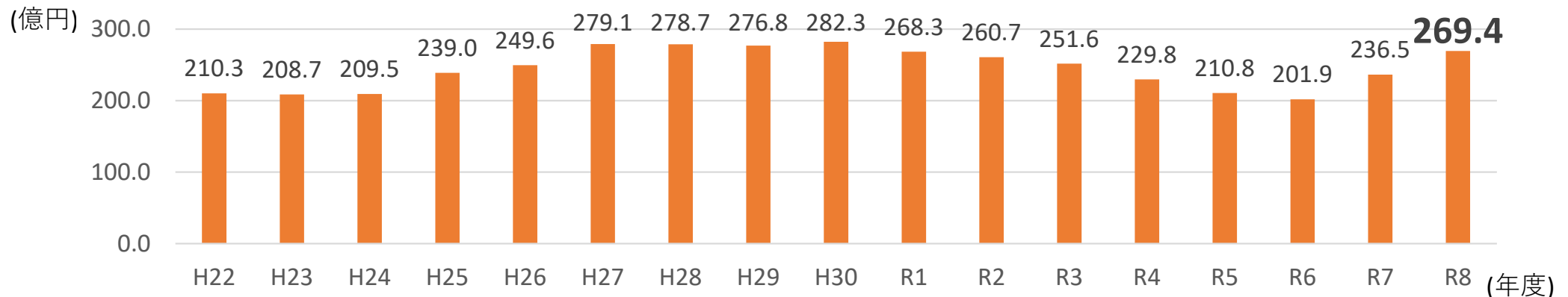
市債と基金の状況

貯金(基金)



これまで大型施設整備の実施に備えて着実に蓄えてきた貯金の取り崩しにより、前年度から**71.1億円減少**し、残高は164.8億円になりました

借金(市債)



新市庁舎や安土コミュニティエリア等の整備に伴い、借金が前年度から**32.9億円増加**し、残高は269.4億円になりました

令和8年度 主な事業の紹介



基本目標
1

創造性が豊かで行動力があり、地域を担い未来へ通じる「人」を育みます



事業名	主な事業の内容	前年度費	本年度費	本年度財源内訳				
				国支出	県金	市債	その他特定財源	内ふるさと応援基金
保育人材確保事業	民間保育施設に新規雇用された保育士等に給付金を支給し、人材確保を進め、待機児童の解消につなげる	-	3,500	-	-	3,500	3,500	-
		【33,203】	【43,082】	【5,423】	【-】	【34,028】	【34,028】	【3,631】
放課後児童クラブ施設整備事業 [安土こどもの家整備事業]	安土小学校区における放課後児童クラブの受入枠を確保するため、コミュニティエリア整備の一環として、新たな安土こどもの家を整備する	19,177	35,142	7,084	22,400	5,658	-	-
小学校教育指導事業	小学3年生が沖島を訪れて体験的にふるさと探究学習を行うための支援を行う	-	4,913	-	-	4,913	4,913	-
		【16,830】	【15,408】	【2,109】	【-】	【6,023】	【6,023】	【7,276】

上段：主な事業の事業費および財源

下段：【】書は予算書事業名全体の事業費および財源

基本目標
1

創造性が豊かで行動力があり、地域を担い未来へ通じる「人」を育みます



事業名	主な事業の内容	前年度費	本年度費	本年度財源内訳				
				国支出	県金	市債	その他特定財源	内ふるさと応援基金
小学校教育指導事業	推進モデル校及び推進委員会において、大学教員による研修・指導助言の機会を持ち、定着を図る	1,705	495	-	-	495	495	-
		【16,830】	【15,408】	【2,109】	【-】	【6,023】	【6,023】	【7,276】
臨時講師配置事業	小学校における教科担任制を推進する学校体制を構築するため、市内全小学校に非常勤講師を配置する	12,158	26,415	-	-	26,415	26,415	-
		【47,525】	【67,640】	【-】	【-】	【67,547】	【67,547】	【93】
中学校教育指導事業	猛暑等の天候に左右されない計画的な授業時間の確保等のため、八幡西中学校の水泳授業を民間に委託する	-	5,019	-	-	-	-	5,019
		【6,845】	【8,295】	【-】	【-】	【-】	【-】	【8,295】

上段：主な事業の事業費および財源

下段：【】書は予算書事業名全体の事業費および財源

基本目標
1

創造性が豊かで行動力があり、地域を担い未来へ通じる「人」を育みます



事業名	主な事業の内容	前年度費	本年度費	本年度財源内訳				
				国 支 出 金	市 債	その他 特定財源	内ふるさと 応援基金	一般財源
中学校部活動強化支援推進事業 [地域クラブ活動推進事業]	日本文化やアーバンスポーツを体験できる地域クラブを創設し、中学生の活動の場を公的に保障する	-	5,027	3,346	-	1,681	1,596	-
小学校施設整備事業[安土小学校施設整備事業]	学校と地域が連携し、多様な学習環境を創出できる施設づくりのため、工事に着手する	226,877	3,541,884	466,964	713,700	2,361,220	2,361,220	-
給食センター運営事業	市立小中学校に在籍する児童生徒の学校給食費を無償とする	358,416	384,999	253,338	-	131,661	-	-
		【740,526】	【775,633】	【253,384】	【-】	【193,623】	【14,915】	【328,626】
学校給食費補助事業	市立以外の小中学校に在籍または市立小中学校に在籍し給食を喫食しない児童生徒に給食費相当額を補助する	3,595	20,053	-	-	19,963	-	90

上段：主な事業の事業費および財源

下段：【】書は予算書事業名全体の事業費および財源

新規採用保育士等臨時給付金交付事業 (保育人材確保事業)

新規

所管課 子ども健康部 幼児課

【予算額】3,500千円
(財源:ふるさと3,500千円)

ふるさと応援基金充当

現状と課題

- ・本市の待機児童数は40人(R7.4.1)で 全国ワースト9位である。
- ・保育所等における保育定数の維持・拡大等を図るべく新規採用保育士の確保が重要。



取組み

- ・令和8年4月以降、市内の民間保育所・こども園に正規採用された保育士・保育教諭に臨時給付金を支給する。(6か月経過後5万円、1年経過後10万円、30万円) ※1年経過後の30万円支給対象者は移住者のみ
- ・今後、継続して2年勤務した場合、10万円、3年勤務した場合、20万円を支給する。



効果、目指す姿

- ・人材の確保に苦慮する民間保育所・こども園において、保育士等の確保ができる。
- ・保育士の安定した確保を行うことにより、受入れ園児の拡大が図れ、待機児童の解消につながる。

新規採用(1年目) R8,9,10

- ・他市町から移住…5万円+30万円
 - ・上記以外 …5万円+10万円
- 35万円*10人 = 350万円

2年継続 …10万円 R9,10,11

10万円*10人 = 100万円

3年継続 …20万円 R10,11,12

20万円*10人 = 200万円

(単位:万円)

	R8	R9	R10	R11	R12
1年目	350	350	350	0	0
2年目	0	100	100	100	0
3年目	0	0	200	200	200

※3年間の事業で設定。1年目はすべて「移住」で計上。

安土こどもの家整備事業

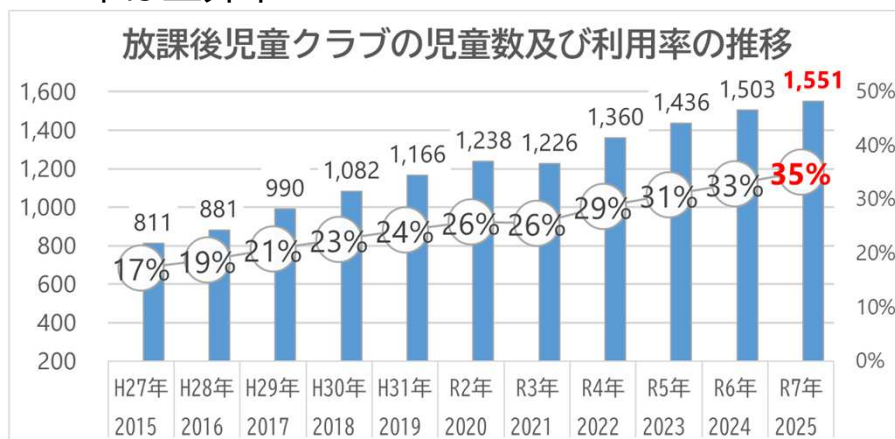
所管課 子ども健康部 子育て政策課

【予算額】35,142千円

(財源:国費3,542千円 県費3,542千円 市債22,400千円 その他5,658千円)

現状

- 放課後児童クラブの利用急増
(平成27年) (令和2年) (令和7年)
17% → 26% → **35%** 10年で2倍
- 少子化で対象者数は、減少傾向であるが、利用率は上昇中



課題

- 利用ニーズの高まりに対応し、施設の受け皿を確保する必要がある。
- 安土小学校区においては、コミュニティエリア整備に伴い、小学校が移転するため、既存施設と小学校の距離が遠くなる。

方針

- 放課後児童クラブを整備し、待機児童を生じさせない。
- 安土コミュニティエリア内に新たなこどもの家を整備し、登所の安全を確保する。



手法

安土こどもの家整備事業

- 安土コミュニティエリア整備にあわせて、新たな放課後児童クラブ専用施設(こどもの家)を整備する。
- 施設の規模は、定員150人(3支援単位)
- 令和8年度事業費として、35,142千円(こどもの家建築工事)

スケジュール (想定)

- 令和6年度～7年度 こどもの家建築設計
- 令和8年度～9年度 こどもの家建築工事
- 令和10年4月 こどもの家供用開始



沖島わくわく探検隊〈特色ある学校づくり〉 (小学校教育指導事業)

新規

所管課 教育委員会事務局 学校教育課

【予算額】4,913千円
(財源:ふるさと4,913千円)

ふるさと応援基金充当

現状と課題

- ・ 現在ふるさと学習については、各学区で地域の身近な自然・文化・歴史等を活用して実施している。
- ・ 近江八幡市には水郷をはじめ自然遺産が豊富にあるものの市全体では学習教材として利用できていない。
- ・ 社会科や総合的な学習の時間等で市内の小学3年生全員が沖島を訪れることで、沖島の環境や人々の暮らしについて学び、市内の場所や地域による違いを考え、市全体の様子へ視野を広げられる。



取組

- 沖島をフィールドにしたふるさと探究学習を行うための支援を行う。
- 小学3年生が学校ごとに沖島を訪れるための支援を行う。

効果、目指す姿

- ・ 沖島体験活動を通じて、沖島に伝わる漁法について学んだり、琵琶湖の漁業や生態系に興味を持ったりすることができる。
- ・ 国の日本遺産に認定されている沖島の生活様式や景観に触れたり、沖島の魅力発信をしたり、自然と共に生きる島の暮らしを通して、環境との関わり方や持続可能な生き方に気づくことができる。
- ・ 「ふるさと学習」を通して近江八幡に愛着と誇りを持ち、地域や社会に貢献できる人づくりができる。

事業計画・予算 【R8参加予定校】近江八幡市内 全12小学校

(報償費)		
・地域協力者謝金 5,000円×56名	=	280,000円
(旅費費用弁償)		
・講師(水産課)通船代(1,000円×36回×2名)	=	72,000円
・地域協力者研修会通船代 1,000円×25名	=	25,000円
(使用料・賃借料)		
・バス代@165,000円×24台	=	3,960,000円
・船代@(善通丸)20,000円×10回	=	200,000円
(通船)13,200円×12回	=	158,400円
・沖島資料館 入館料 1,000円×13回	=	13,000円
・漁業倉庫使用料1000円×15回	=	15,000円
(消耗品費)		
・体験学習にかかる材料費等		169,735円
(役務費)		
・地域協力者損害保険料	=	18,450円
		計 4,911,585円

学習の流れ

9:00	バスにて堀切港着
9:15	堀切港・出港
9:30	沖島着
9:30	①魚の解剖 沖島の漁業や琵琶湖の環境説明 (県水産課)
	②沖島ウォークラリー
11:00	資料館見学・消防艇見学等
12:15~	沖島小学校沖島小学校の概要説明 沖島・出港

教科担任制推進事業

(小学校教育指導事業、臨時講師配置事業)

拡充

所管課 教育委員会事務局 学校教育課

【予算額】26,910千円
(財源:ふるさと26,910千円)

ふるさと応援基金充当

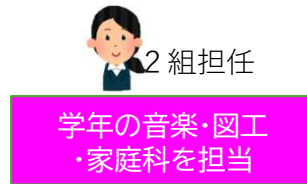
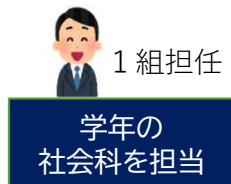
現状と課題

2025年度から小学校中学年における教科担任制を導入する国の動きがあり、本市でも、中・高学年での積極的な取組を推進している。本市においても、2025年度より市費負担の非常勤講師配置や推進モデル校設置や先進校視察、推進委員会の開催等により、各校での取組が活発化している。しかし、児童の情報共有の時間確保や学級担任と市費講師との連絡調整の難しさが課題として挙げられる。

教科担任制の取組

- 先進校への視察を行い、実践事例をまとめ、学校に示す。
- 推進協力校による授業公開と大学教員による研修・指導の機会を持ち、管理職・教員への理解を深める。
- 「小学校教科担任制推進委員会」を開き、市内小学校における教科担任制の推進に関し、教育課題の共有、実践事例の検討、円滑な導入・推進に向けた方策等について協議し、小学校教科担任制のメリットを市内に広げる。
- 教科担任制市費講師を全小学校に配置し、配置時間数を拡充し、多面的な児童理解を深め、教科担任制の定着を図る。

(例)



- 推進委員会・推進校講師謝金 $5,500円 \times 6時間 \times 5回 = 165,000円$
- 講師旅費 $(26,060円 + 10,800円) \times 5回 = 184,300円$
- 先進地視察旅費 $26,120円 \times 2人 \times 2校 = 104,480円$
- 消耗品費 $20,000円 \times 2校 = 40,000円$
- 市費臨時講師報酬等 $= 26,414,400円$
- 計 **26,908,180円**

期待する効果

- ① **多面的な児童理解**
 - ・ 複数の教員が教科指導に当たることを通じて、児童の学級満足度が高まり、多面的な指導・支援が可能となる。
 - ・ 児童を複数の教員で指導することにより、生徒指導上の課題の未然防止につながる。
- ② **授業の質の向上**
 - ・ 教師の担当教科を減らし、教材研究の充実や系統性を意識した授業づくりによる授業改善が図られ、児童の学力の高まりが期待できる。
- ③ **教員の人材育成**
 - ・ 担任の経験やスキルの差が埋まるため、学習進度・評価のばらつきが是正され、学級・学年経営が安定する。
- ④ **小・中学校間の円滑な接続**
 - ・ 授業をする教員が変わることに慣れ、中1ギャップの緩和につながる。
- ⑤ **教員の負担軽減**
 - ・ 担当教科が減ることで、授業準備の効率化、教材研究の充実につながる。

中学校水泳事業（中学校教育指導事業）

所管課 教育委員会事務局 学校教育課

【予算額】5,019千円
 (財源:一般財源5,019千円)

【課題と現状】

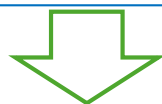
- ・ 猛暑等の天候に影響されない計画的な授業時間の確保の困難
- ・ 水質管理や施設管理を担う教職員負担が大
- ・ 中学校でのプールの稼働率が低い
- ・ 八幡西中学校長寿命化工事によるプールの取り壊し



【取組み】

- ・ 八幡西中学校での水泳授業を民間プールで実施

今後、八幡西中学校の実施の検証を行い、市内全中学校に広げることを検討する



【効果、目指す姿】

- ・ 年間を通して全天候で水泳授業が実施できる
- ・ インストラクターのより専門的な指導が受けられる

中学校水泳授業にかかる費用

委託料	2,965千円
移動にかかる費用	2,054千円
合計	5,019千円

地域クラブ活動推進事業

所管課 教育委員会事務局 学校教育課

【予算額】5,027千円

(財源:県費3,346千円、ふるさと1,596千円 その他85千円)

ふるさと応援基金充当

現状と課題

令和4年12月スポーツ庁・文化庁から「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に基づき、本市では『公的部活動の保障』を掲げ、従来の中学校部活動の充実（地域連携）に取り組んでいる。一方で、活動したい部活動がない生徒もおり、特定の中学校においては部活動への加入率は年々低下している課題がある。

令和8年度からの取組

中学校を問わずに参加できる「地域クラブ活動」の充実を図ることで、生徒がスポーツや文化芸術活動に親しむ多様な機会を得られる。これにより、中学校部活動以外における『公的部活動の保障』を実現する。

これまで、実証事業や実験的に取り組んできた地域クラブ活動を、市が主体となって本格的に運営する。

- ①ラグビークラブ ②ソフトボールクラブ
- ③まちづくりクラブ ④データサイエンス入門クラブ

【令和8年度から新規取組】

- ⑤日本伝統文化クラブ（茶道・書道・華道を体験）
- ⑥マルチスポーツクラブ（ボルダリング・スケートボード）

効果、目指す姿

- 生徒がスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を得られる（中学校部活動との両輪により、公的部活動を保障）
- 地域人材を活用することで、持続可能な活動の場が整えられる
- 国が設定する「改革実行期間（～R13年度）」における「全ての学校部活動の休日活動を地域展開する」という方針に対する素地・ノウハウ、課題検証ができる

公的部活動の保障

中学生がスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を保障

中学校部活動

- 1 部活動主事の配置
 - ・部活動全体をコーディネート
 - ・部活動指導員の発掘・採用・管理・研修
 - ・部活動の安全管理、傷害予防
 - ・トラブル対応 等
- 2 部活動指導員の拡充
 - ・要望がある部活動に配置
 - ・指導体制の滑らかな移行 等
- 3 学校部活動の強化支援
 - ・部活動環境の整備
 - ・小中連携等の体験活動の実施
 - ・部活動アプリの導入 等

地域クラブ活動

- 1 スポーツクラブの運営
 - ・国の実証事業を引き継ぎラグビー、ソフトボールクラブを実施
- 2 文化クラブの運営
 - ・まちづくりクラブ、データサイエンス入門クラブの円滑な運営と充実
- 3 新たなクラブ活動の創設
 - ・多様な活動の場を保障するために、ニーズが見込めるクラブ活動（日本伝統文化クラブ、マルチスポーツクラブ等）を創設・運営

<車の両輪>

相互の活動の状況や社会情勢、生徒のニーズ等を考慮し、それぞれの取組を補完・融合しながら公的部活動を保障



部活動主事が運営の中心となって取り組む

安土小学校施設整備事業

所管課 教育委員会事務局 教育総務課

【予算額】3,541,884千円

(財源:国費466,964千円 市債713,700千円 ふるさと2,361,220千円)

ふるさと応援基金充当

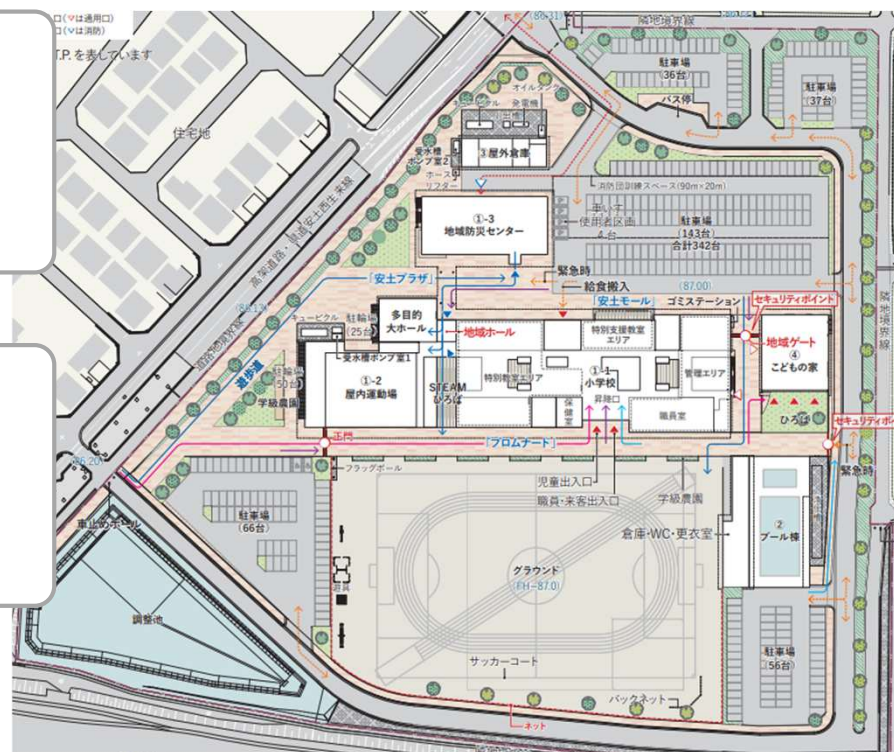
指標	最終目標	目標達成年度
安全・安心で豊かな教育環境の整備	学校、地域が連携し、教育内容の変化や多様な学習環境に対応することができる施設づくりを行う。	令和9年度

取組み

安土コミュニティエリアとして、小学校、コミュニティセンター、消防団詰所、放課後児童クラブ一体整備工事を実施する。

今後の予定

- ・令和7年度末 入札手続
- ・令和8年6月 契約締結、工事着手
- ・令和9年12月末 竣工予定



小中学校給食費の無償化

(給食センター運営事業、学校給食費補助事業)

拡充

所管課 教育委員会事務局 学校給食センター

【予算額】405,052千円

(財源: 県費253,338千円、その他151,624千円、一般財源90千円)

ふるさと応援寄附金活用

○目的

少子化の進展や若年子育て世帯の安定的な収入が見込めない等の社会的背景があるなか、本市でより多くの子どもを育ててもらえるよう、給食費の経済的負担の軽減を実施する。

○対象と内容

〈学校給食費の無償化〉

- ・市立小中学校に在籍する児童生徒の学校給食費を無償とする。



〈学校給食費補助金の交付〉

- ・市立小中学校に在籍で食物アレルギー等の理由により学校給食を喫食していない児童生徒、市外の公立小中学校・特別支援学校小中学部・私立小中学校に在籍している児童生徒の給食費に相当する額を補助する。



①学校給食費の無償化

約385,000千円

- ・対象者数
小学校：約4,300人
中学校：約2,200人



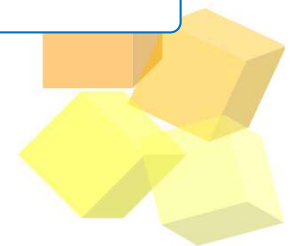
②学校給食費補助金の交付

約19,963千円

- ・対象者数
小学校：約140人
中学校：約210人

○効果

子育て世帯の経済的負担を軽減する。



基本目標
2

一人一人が互いに支え合い、 心のかよう地域社会を創ります



事業名	主な事業の内容	前年度費	本年度費	本年度財源内訳					
				国支出	県金	市債	その他特定財源	内ふるさと応援基金	一般財源
総合福祉センター施設改修事業	ひまわり館を新たに健診（検診）機能を備えた施設として整備する	1,325	313,013	-	-	281,300	31,713	-	-
民間心身障害児者社会福祉施設整備事業	重度障がい児が通える事業所が不足している状況であるため、医療的ケア児及び重症心身障害児を対象とした事業所を市内の既存の施設を改修して整備する	32,737	15,351	-	-	-	15,351	15,351	-
小学校要保護準要保護児童援助事業 [小学校要保護児童援助事業]	保護者の経済的な負担を軽減させることによって、すべての児童・生徒が安心安全に修学旅行に参加できる	137	129	52	-	-	-	-	77
中学校要保護準要保護生徒援助事業 [中学校要保護生徒援助事業]		244	145	65	-	-	-	-	80

総合福祉センター施設改修事業

所管課 福祉保険部 福祉政策課

【予算額】313,013千円
 (財源:市債281,300千円 その他31,713千円)

【目的】 健診（検診）機能を整備するための施設改修

【現状と課題】

- ・近江八幡市庁舎整備基本計画において、既存施設の有効活用の観点からひまわり館を健診（検診）機能として活用することとしている。
- ・健診（検診）機能の移転に伴う改修工事に併せ、LED化や駐車場整備が必要となる。

【効果】

- ・ひまわり館を新たに健診（検診）機能を備えた施設として整備することで、2階のワンフロアで乳幼児健診を実施することができる。
- ・改修前からひまわり館に備わっている発達支援センターの検査室等についても整備することで、療育機能の充実を図ることができる。

<1階>

- ★子ども発達支援センター（ひかりの子）
- ★社会福祉協議会（事務局、デイサービス）
- ★ホール（貸館）、相談室等

より使いやすく改修！
 (大きなレイアウト変更なし)

<2階>

- ★乳幼児健診 健診センター（NEW） ➡ レイアウト変更、幼児トイレ整備等
- ★研修室1・2・3、栄養指導室（貸館）

<その他>

- ★全館LED化（蛍光灯の生産終了。安定期の寿命）
- ★自動水栓（最新の基準に適合）
- ★北側公園を駐車場に整備（駐車場拡充。利便性アップ）



障害者福祉施設整備 （民間心身障害児者社会福祉施設整備事業）

所管課 福祉保険部 障がい福祉課

【予算額】15,351千円
（財源：ふるさと15,351千円）

ふるさと応援基金充当

現状と課題

本市では、重症心身障がい児者や医療的ケアが必要な障がい児者が通所できる日中活動の場が不足しており、長時間の送迎で市外の事業所へ通所されている方もいる状況である。
また、医療的ケア児の保護者から特別支援学校卒業後に身近な地域で通所できる日中活動の場の整備について強い要望がある。



取組み

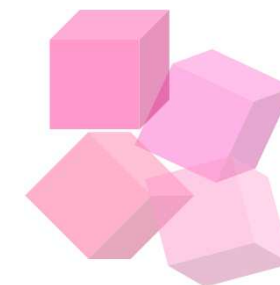
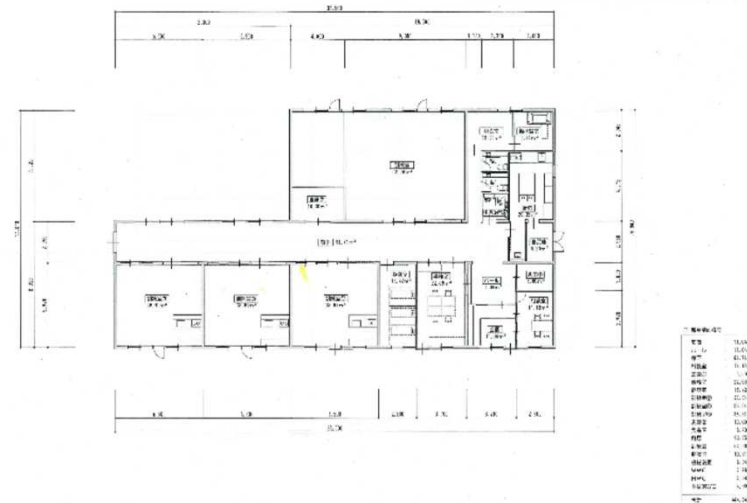
重症心身障がい児者や医療的ケア児者が身近な地域で支援を受けることができるようNPO法人等が実施する施設整備に対して障害者福祉施設整備補助金を交付する。
（NPO法人オリーブの実「オリーブのねっこはちまん」定員：生活介護25人、児童発達支援5人、放課後等デイサービス5人）



効果、目指す姿

重症心身障がい児者及び医療的ケア児者の日中活動の場が確保され、医療的ケアの必要な障がい児者が住み慣れた身近な地域で安心して支援を受けることができるようになる。

NPO法人オリーブの実「オリーブのねっこはちまん」



小・中学校要保護児童・生徒援助事業

所管課 教育委員会事務局 学校教育課

【予算額】274千円

(財源:国費117千円 一般財源157千円)

課題

- ・昨今の物価高騰により修学旅行費が上昇し続けており、実際に、毎年国の補助上限額を超えている。
- ・現在、上限額を超える部分は保護者が負担している。
- ・補助対象者は生活保護受給世帯であり、低所得であるため、このまま物価が高騰し続けると、補助額との差額分だけ保護者の負担が増える可能性がある。

今年度の取組内容

国庫補助基準額と修学旅行費の差額分を本年度より支援する

予測

実際の修学旅行費は物価高騰などにより高くなる可能性があることを考慮して、令和8年度の単価は小学校32,000円、中学校72,000円で予算を計上する。

概算

- 小学校 32,000円×4名 = 128,000円
- 中学校 72,000円×2名 = 144,000円

国庫補助対象経費

- 小学校 26,370円×4名 = 105,480円
- 中学校 65,280円×2名 = 130,560円

差額

- 小学校 5,630円×4名 = 22,520円
- 中学校 6,720円×2名 = 13,440円

	国庫補助金 1/2	市財源① (国庫補助対象 経費内)	市財源② (拡充分)
小学校	52,000円	53,480円 ①+② = 76,000円	22,520円
中学校	65,000円	65,560円 ①+② = 79,000円	13,440円

効果、目指す姿

子どもの主体的な学習活動を促すために、様々な選択肢から修学旅行先を選べるような環境を整え、すべての家庭の児童生徒が安心安全に修学旅行に参加できる。

基本目標
3

豊かな自然、歴史、文化を守り、 活かし、未来に引き継ぎます



事業名	主な事業の内容	前年度費	本年度費	本年度財源内訳					
				国 支出	県 金	市 債	その他 特定財源	内ふるさと 応援基金	一般財源
地球温暖化対策事業	家庭での節電や省エネ行動を進めていただくため、コミュニティセンター等でのイベント時等にあわせ「うちエコ診断」を実施する	-	180	-	-	-	-	-	180
		【174,534】	【192,529】	【-】	【-】	【192,000】	【192,000】	【529】	
環境美化推進事業[美化推進対策事業]	本事業を脱炭素の取組と位置付け、一層のごみ削減をすすめるため普及促進を図る	3,515	2,600	-	-	2,600	2,600	-	
		【8,932】	【7,309】	【-】	【-】	【2,600】	【2,600】	【4,709】	
資料館等整備事業[旧西川家住宅整備事業]	旧西川家住宅の価値を損なわず、観光客の安全を確保するため耐震工事の実施設計を行う	7,469	8,256	4,125	3,700	-	-	431	

上段：主な事業の事業費および財源

下段：【】書は予算書事業名全体の事業費および財源

うちエコ診断市内巡回事業 (地球温暖化対策事業)

所管課 市民部 環境政策課

【予算額】180千円
(財源:一般財源180千円)

各家庭での節電や省エネ行動を進めていただくため、コミュニティセンター等でイベント時等にあわせ「うちエコ診断」を実施する。

(1) 内容

「うちエコ診断」は、「うちエコ診断士」の資格を有する方が、家庭の電気・ガス・水道などの使い方をもとに、どこでエネルギーを多く使っているのかを調べ、無理なく省エネ・節約できる方法を教えてくれる環境省が推進している診断サービスです。

(2) 経費 1回あたり30,000円 × 6回
= 180,000円

(3) 対象 近江八幡市民

(4) 実施場所 コミュニティセンター、
近江八幡市役所本庁、安土町総合支所、その他公共施設
※学区のイベント時等に合わせ、いずれかの場所
所で実施します。

こんな人におすすめ!

- ・ 「電気代が高くなってきた…」と感じている方
- ・ 家族でエコ生活を始めたい方
- ・ 環境にやさしい暮らしをしたいけど、何から始めればいいのかわからない方

指標	最終目標	目標達成年度
相談件数	250件 R8:50件 R9:100件 R10:100件	令和10年度

環境(エコ)意識の醸成を図る

期待される効果

- ・ 家計の光熱費のムダを発見できる
- ・ 具体的な改善策をわかりやすく教えてもらえる
- ・ 「CO₂削減量を“見える化”」できるので、環境にも家計にもやさしい
- ・ 一度受けると、翌年以降の比較もできる

これらのことにより環境(エコ)意識の醸成が期待できる。



生ごみ処理機購入補助〈上乘せ継続〉 (美化推進対策事業)

拡充

所管課 市民部 生活環境課

【予算額】2,600千円
(財源:ふるさと2,600千円)

ふるさと応援基金充当

現状と課題

- 水分が非常に多い(含水率約80%)生ごみを含む家庭系可燃ごみ量は、令和2年度以降減少傾向が続き、総焼却ごみ量も同様に減少している。
- 可燃ごみに含まれる生ごみ量も減少傾向にあるものの、生ごみの“水分を燃やす”ために多大なエネルギーを消費しているため、省エネルギー、脱炭素の観点から、家庭における更なる取組が必要。

取組内容 (令和10年度まで継続)

- 令和4年度～令和7年度
補助率：電気式、非電気式とも“1/2”⇒“3/4”
補助上限額：電気式 = 20,000円⇒30,000円
非電気式 = 3,000円⇒4,500円

	R4	R5	R6	R7(上半期)
非電気式	73	55	44	49
電気式	52	80	93	56
合計	125	135	137	105

“上乘せ補助”を更に延長して実施します

目指す姿

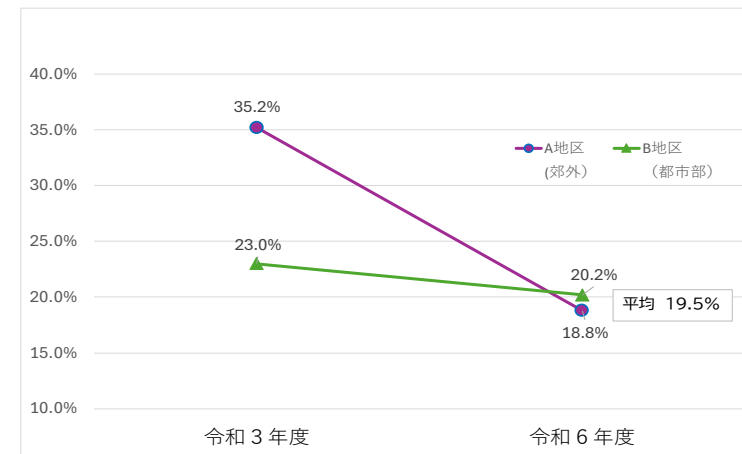
- 1世帯2.25人×468g/人日×4%×365日
=約15kg/世帯・年間の減量効果!
⇒ **ごみステーションへの持ち運びの負担軽減!**
⇒ **焼却ごみ減少**
⇒ **二酸化炭素排出量の抑制**

	家庭系可燃ごみ量(t)	焼却ごみ量(t)	人口(10/1現在)
令和2年度	15,318	23,383	82,223
令和3年度	15,020	22,872	82,220
令和4年度	14,736	22,498	82,005
令和5年度	14,319	21,980	81,801
令和6年度	13,995	21,471	81,928

家庭系可燃ごみ中の生ごみ構成比率の推移

	調査年度	調査対象可燃ごみ量(kg)	生ごみ量(kg)	生ごみ構成比率
A地区(郊外)	令和3年度	308.76	108.60	35.2%
	令和6年度	715.44	134.50	18.8%
B地区(都市部)	令和3年度	491.68	113.12	23.0%
	令和6年度	538.13	108.64	20.2%

平均(現状) 19.5%



KPI (重要業績評価指標)

- 家庭系可燃ごみ中の生ごみ構成比率
現状(令和6年度) 19.5%
⇒ 目標年度(令和10年度) 15.0%

旧西川家住宅整備事業

所管課 総合政策部 文化振興課

【予算額】8,256千円

(財源:国費4,125千円 市債3,700千円 一般財源431千円)

現状と課題

旧西川家住宅は近江商人として栄えた西川利右衛門の商家です。江戸時代前期に建てられた建物で、国の重要文化財となっています。昭和60年から昭和63年にかけて建物の修理工事を行い、修理後は公開活用を行ってきました。

令和2年度に建物の耐震診断をしたところ、耐震補強が必要との結果が出たため、耐震工事の方向性について協議を重ね、耐震工事案の方向性を決定しました。



取組

修理の方向性をもとに実施設計を委託します。



効果、目指す姿

建物の価値を損ねない耐震工事を行い、地震により倒壊しない建物とし、耐震工事を行うことで、観光客や市民に対して安全に公開を行います。

今後の流れ

実施設計完了後、
実施設計を基に、耐震工事を実施。

令和8年度 実施設計

令和9年度 耐震工事 (2か年の1年目)

令和10年度 耐震工事 (2か年の2年目)



基本目標
4

地域の魅力を掘り起こし、暮らしを支える産業を興します



事業名	主な事業の内容	前年度費	本年度費	本年度財源内訳					
				国支出	県金	市債	その他特定財源	内ふるさと応援基金	一般財源
商工業振興事業	地域おこし協力隊を委嘱し、空き町家の利活用を促進し、事業者や人材の連携体制を構築して賑わいを創出する	-	6,416	-	-	-	-	-	6,416
		【22,259】	【31,987】	【-】	【-】	【3,350】	【3,350】	【28,637】	
観光振興事業	安土城築城450年を記念し、各種イベントの開催やPR等を実施し、地域の機運醸成と誘客促進を図る	-	32,000	-	-	32,000	-	-	
		【37,998】	【60,922】	【-】	【-】	【40,115】	【8,115】	【20,807】	
観光ブランディング推進事業	令和9年のJRデスティネーションキャンペーンに向け、旅行事業者へ観光素材の情報発信を行う	-	1,000	-	-	1,000	500	-	
		【29,278】	【27,693】	【-】	【-】	【6,194】	【5,694】	【21,499】	

上段：主な事業の事業費および財源

下段：【】書は予算書事業名全体の事業費および財源

地域おこし協力隊(まちづくり関係事業) 商工業振興事業

新規

所管課 産業経済部 商工振興課

【予算額】6,416千円
(財源:一般財源6,416千円)

現状と課題

- ・ 休眠中のまちづくり会社(株)まっせの事業再開に向け、プロジェクトマネージャーを中心に、現在はまちづくり関係人口の拡大、空き店舗・空き町屋の利活用の事業化に取り組んでいる。
- ・ 現状ではプロジェクトマネージャー1名体制であり、再開に向けての事業全体の推進や物件管理、実験的なイベント事業の展開などを担うには人的体制が不足している。
- ▶ 事業再開を促進するためにも、現場で各事業の推進を担う人的体制の強化が必要。

取組み

- ・ プロジェクトマネージャーと連携し、(株)まっせの事業再開に向けた仕組みづくり
- ・ 空き店舗・空き町家等における、新たな活用方法の企画・検討を通じた、地域内外人材および事業者との連携
- ・ 利活用物件の管理運営や、地域の賑わい創出につながるイベントの企画・実施 など

効果・目指す姿

休眠状態にある(株)まっせの事業再開を図るとともに、空き店舗・空き町家の利活用をはじめとしたまちづくりの取組みを推進する。また、地域内外の人材、物件、事業者等をつなぐ体制を構築し、市内のにぎわい創出や持続可能なまちづくりにつなげることを目指す。

KPIについて

利活用に向けたマッチング支援のイベント数

令和8年度：1回

令和9年度：2回

令和10年度：3回



安土城築城450年記念事業（観光振興事業）

所管課 総合政策部 観光政策課

【予算額】32,000千円
（財源：その他32,000千円）

＜現状と課題＞

- ・安土城「令和の大調査」が行われている中、令和8年は安土城が築城450年を迎える節目の年
- ・県において「戦国ディスカバリー滋賀・びわ湖」の観光キャンペーンを実施中
- ・NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」が放映中



当市の戦国コンテンツを
広く発信する好機

＜取り組み＞

安土城築城450年協議会が中心となり各種事業を展開

テーマ：「安土城築城450年を彩り、広げ、育む」

- 彩り・・・節目の年を彩るイベントの実施
- 広げ・・・築城450年を広くPR、近江八幡全域への展開
- 育む・・・次代へ継承、連携構築

＜事業計画（予定）＞

- ・観光施設を結ぶ企画（重ね捺しスタンプラリー）
- ・ガイドとのまち歩き（安土⇔八幡エリアを巡るコース）
- ・あづち信長まつり（2日間開催、左義長の里帰り）
- ・安土ゆかりの事業（子ども相撲体験等）
- ・講演、講演、市内各種イベントとの連携 等



＜効果、目指す姿＞

- ・築城450年の好機に合わせた戦国コンテンツの魅力発信
⇒ 近江八幡ファンの拡大
- ・観光客の誘客促進、地域振興、歴史・風土・文化の継承

各施設、組織と協力し、築城450年を盛上げ

- ・県立安土城考古博物館
- ・安土城天主 信長の館、安土城郭資料館
- ・観光ボランティアガイド
- ・県文化財保護課
- ・びわこビジュアルズビューロー など

デスティネーションキャンペーン事業 (観光ブランディング推進事業)

新規

所管課 総合政策部 観光政策課

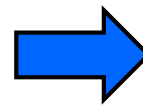
【予算額】1,000千円
(財源:ふるさと500千円、その他500千円)

1.現状と課題

JRグループ各社と連携して地域の魅力を発信、全国からの誘客を図る国内最大級の大型観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン(通称:DC)」が令和9年(2027年)秋に滋賀県で開催される。

令和8年は、全国の旅行会社やJRグループ、マスコミ関係者等に向けて観光素材の紹介等を行い、旅行商品の造成・販売を働きかける「全国宣伝販売促進会議」が行われる。

2.取組み



この好機にDCと連携することで
新たな客層へのアプローチが可能

○全国宣伝販売促進会議(県内全市町が参画予定)

➢旅行会社等に向けて物産品紹介や体験コンテンツをPR

○体験コンテンツ造成

➢DCに向けた魅力ある体験コンテンツの造成

3.効果、目指す姿

- ・JRのキャンペーンに併せた観光素材の発掘
- ・観光客の誘客促進、リピーター増、滞在時間の延長



※写真は屋外イベント時のイメージであり本事業は
屋内開催の予定

基本目標
5

時代にあった安全・安心な生活基盤 を築き、次世代への礎を築きます



事業名	主な事業の内容	前年度費	本年度費	本年度財源内訳					
				国 支 出	県 金	市 債	その他 特定財源	内ふるさと 応援基金	一般財源
安土コミュニ ティエリア整備 事業	小学校・地域防災センター・こ どもの家を安土コミュニティエ リアとして一体的に整備する	1,666,847	1,186,752	-	-	508,600	678,152	-	-
住民防犯活動事 業	現在設置中の防犯カメラの死角 で犯罪が頻発していることから、 カメラを追加設置し、犯罪抑止 等に努める	-	873	-	-	-	873	873	-
		【8,743】	【11,823】	【-】	【-】	【2,953】	【2,953】	【8,870】	
コミュニティセ ンター整備事業 [安土地域防災セ ンター整備事業]	安土コミュニティエリア整備の うち、地域防災センター（コ ミュニティセンター）の建設工 事を行う	76,276	906,273	-	-	906,200	73	-	-

上段：主な事業の事業費および財源

下段：【】書は予算書事業名全体の事業費および財源

基本目標
5

時代にあった安全・安心な生活基盤 を築き、次世代への礎を築きます



事業名	主な事業の内容	前年度費	本年度費	本年度財源内訳				
				国 支 出 金	市 債	その他 特定財源	内ふるさと 応援基金	一般財源
市民バス運行事業	市民バスのICOCA利用者と運転免許証自主返納された高齢者に対してWESTERポイントを交付	-	3,531	-	-	3,531	3,531	-
		【202,919】	【160,417】	【-】	【-】	【48,643】	【3,531】	【111,774】
空家等対策事業	自治会調査を基に空家等の実態を把握し、計画策定を進めるとともに、段階的対応と流通促進を図る	-	15,070	7,500	-	-	-	7,570
		【10,197】	【35,591】	【9,100】	【-】	【6,236】	【-】	【20,255】
市道維持補修事業	AIを活用し、道路空間における設備の検出と劣化状況をデジタル化し電子地図上で情報管理を行う	-	10,000	5,000	-	5,000	5,000	-
		【133,192】	【156,199】	【21,500】	【-】	【7,359】	【7,359】	【127,340】

上段：主な事業の事業費および財源

下段：【】書は予算書事業名全体の事業費および財源

安土コミュニティエリア整備事業

所管課 都市整備部 安土コミュニティエリア整備推進室

【予算額】1,186,752千円
 (財源:市債508,600千円 その他678,152千円)

【現状と課題】

安土町下豊浦地先において、安土小学校、地域防災センター（コミュニティセンター、消防分団詰所）、こどもの家（放課後児童クラブ）を一体的に整備する。計画的に事業を進捗し、早期に事業完了を目指す。

【取組み】

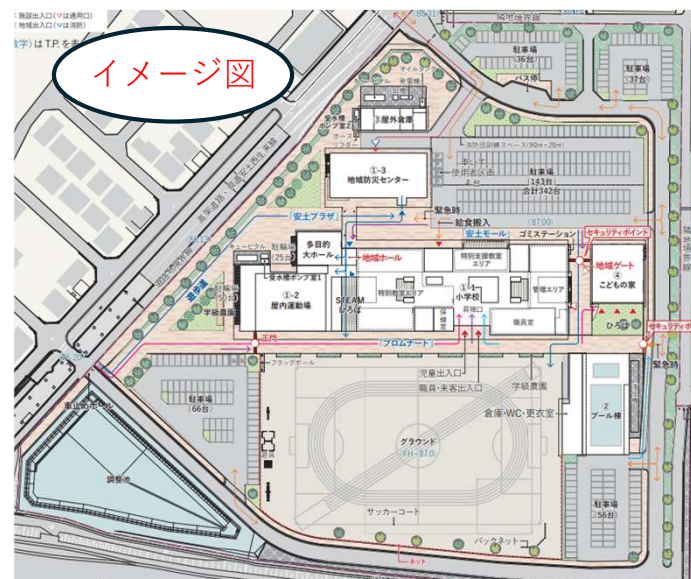
令和7年度発注の用地造成やインフラ整備等に必要な工事を引き続き実施する。
 調整池排水ポンプ設置工事 18,000千円予定 (30,000千円予定)
 用地造成工事 1,166,929千円予定 (2,547,355千円予定)

【効果、目指す姿】

一体的な整備により、各施設が抱える課題の解決を図るとともに、**災害に強いまちづくりを推進する。**

【今後の予定】

令和8年度	造成工事、建設工事
令和9年12月	竣工予定
令和10年1月	供用開始予定（順次）



近江八幡駅周辺防犯カメラ新規設置工事 (住民防犯活動事業)

所管課 市民部 人権・市民生活課

【予算額】873千円
(財源:ふるさと873千円)

ふるさと応援基金充当

現状と課題

多くの方が利用する近江八幡駅の周辺で様々な犯罪が発生しており、治安悪化の懸念があります。



取組み

現在、死角となっている箇所では犯罪が連続して発生していたことから、該当箇所をカバーできる位置に防犯カメラを設置します。



効果、目指す姿

近江八幡駅前に防犯カメラが追加で設置されることで、今以上の抑止力及び事件の早期解決に寄与します。

他にもカメラがあるかもしれない・・・



指標	最終目標	目標達成年度
近江八幡駅前への防犯カメラ設置	2台	令和8年度



プライバシーは大丈夫?

- 特定の個人を監視するものではありません。
- 閲覧の制限
映像を見るのは、事件・事故等が発生し、警察から正式な要請があった場合のみに限られます。

安土地域防災センター整備事業

所管課 総合政策部 まちづくり協働課

【予算額】906, 273千円
(財源:市債906, 200千円 その他73千円)

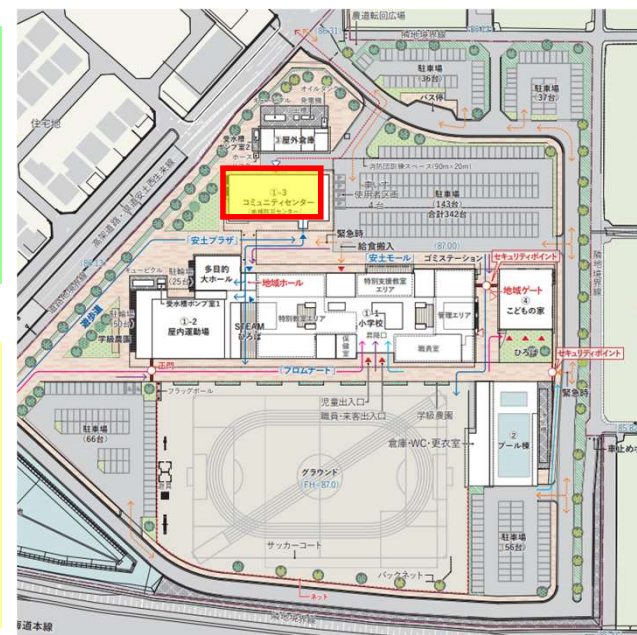
【現状と課題】

安土町下豊浦地先で、安土小学校、地域防災センター(コミュニティセンター)、消防分団詰所、放課後児童クラブを一体整備する「安土コミュニティエリア整備事業」の整備を進めている。



【取組み】

安土コミュニティエリア整備のうち、地域防災センター(コミュニティセンター)にかかる建設工事を開始する。



【効果、目指す姿】

災害時は安土学区の現地本部及び避難施設として活用し、平常時は地域コミュニティの拠点として、市と市民による協働のまちづくりを進めるためのさまざまな地域活動の場となるよう整備を行う。

【今後の予定】

令和8年度～令和9年12月 安土地域防災センター建設工事

ICOCAで広がるスマート交通と免許証返納支援 (市民バス運行事業)

新規

所管課 市民部 交通政策課

【予算額】3,531千円
(財源:ふるさと3,531千円)

ふるさと応援基金充当

【取組み】

- 市民バスにおけるICOCA利用を促進するため、ICOCAで運賃を支払う全ての利用者に対してウェスターポイントを交付する。(カード番号等の事前登録が必要)
- 近江八幡市内に住所を有する、65歳以上の運転免許証の自主返納を行った者に対して、ウェスターポイント(JR西日本グループが提供する共通のポイントサービス)の交付を行う。



【仕組み】

- 市民バス運賃をICOCAで支払った利用者に対して、**運賃の10%分のウェスターポイントを交付**する。(3年間の時限的な措置とする)
- 近江八幡市内に住所を有する65歳以上の者で、運転免許証を自主返納した者に対し、**ウェスターポイント(5,000P)**を交付する。(1P=1円)
※従来の回数券の交付またはポイント、いずれかの選択制とする。



【効果、目指す姿】

- 運転免許証の自主返納促進による**高齢者の安心・安全な移動環境の確保**
- ICOCAの利用促進による適正な運賃收受
- 現金收受減少による**乗務員(運行管理者)の負担軽減及び安全性の向上**
- ICOCAをはじめとする交通系ICの利用による、**公共交通機関の相互利用促進**
- ポイント交付による高齢者の外出意欲の創出

指標	最終目標	目標達成年度
ICOCA利用率	全体の30%	令和11年度
自主返納回数券(紙)からポイント交付への完全移行	紙媒体回数券を廃止し、ウェスターポイント交付へ移行する	令和9年度



あかこんバス

65歳以上
免許証返納者

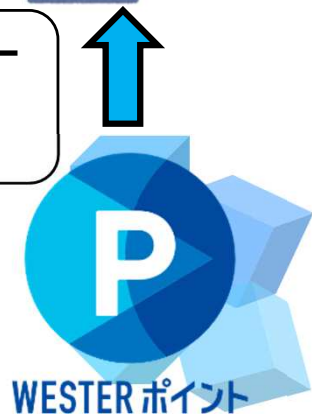


ICOCA利用者

かざして
ピッ!



ウェスター
ポイント
交付



WESTERポイント

空家等実態調査（空家等対策事業）

所管課 都市整備部 住宅施策推進室

【予算額】15,070千円
 (財源:国費7,500千円 一般財源7,570千円)

「第3次計画策定の基盤：空家を初期から老朽化まで把握し、段階対応、流通促進へ」

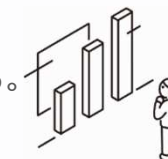
現状と課題

- ・市に寄せられる相談・苦情のある空家は、すでに老朽化が進んだ状態であることが多い。
- ・通報がなく空家化しているケースを把握できておらず、早期対応が困難。
- ・通報依存の現行体制では、空家の全体像を把握できず、計画的な対策につなげられない。

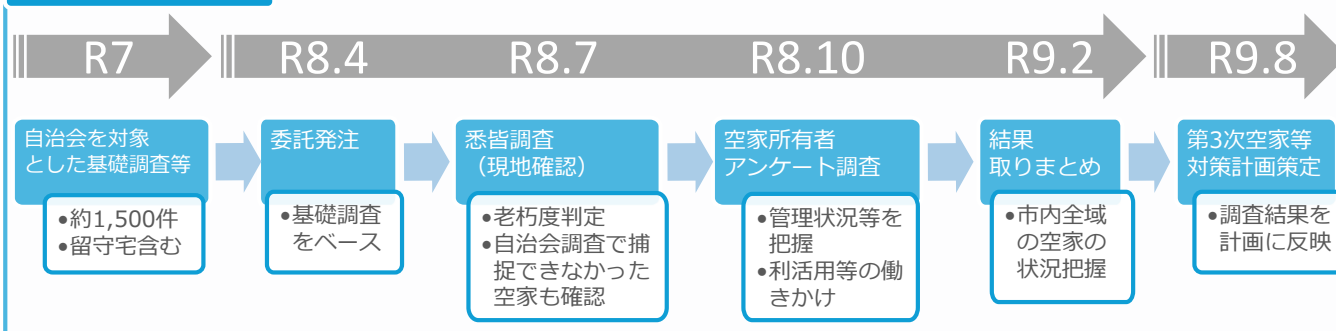


取組み

- ▶令和7年度に実施した自治会協力による基礎調査等の結果をベースに、市内全域の悉皆調査を行う。
- ▶調査件数は、1,500件程度を想定。
- ▶空家所有者（管理者）等へのアンケート調査を実施し、管理状況・利活用意向・課題を把握する。
- ▶調査結果は、施策検討に活用するとともに、第3次空家等対策計画の基礎データとして用いる。



スケジュール



効果

- 1 初期段階の空家から、適切に対応できる。
- 2 空家の流通促進と生活環境の改善が図れる。
- 3 将来の対策コストを抑制できる。

スマートロードAIシステム導入事業 (市道維持補修事業)

新規

所管課 都市整備部 土木課

【予算額】10,000千円
(財源:国費5,000千円 ふるさと5,000千円)

ふるさと応援基金充当

新しい地方経済・生活環境創生交付金について

デジタル実装型

令和7年9月
内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局
内閣府 地方創生推進事務局・地方創生推進室

事業概要

当市には道路台帳は整備済みであるが道路付属物台帳は未整備であり、全体の数量や設置箇所が不明であり修繕対応等においては場所の特定などに時間を要している。また近年では全国的に設備劣化に伴う事故等が散見されており適切な維持管理が求められている。本事業では設備の検出と劣化状況をデジタル化し、電子地図上に情報管理することで、管理業務の効率化や劣化把握による修繕計画の検討・策定が可能となる。予防保全型の仕組みを構築されることで、持続可能で市民の安全・安心な暮らしに資するインフラ環境整備を実現するものである。



◆AIのサービス概要

◆AIのサービス提供項目

設備種別	対象設備		設備台帳の作成	設備の劣化診断
	1-1	1-2		
道路構造物	道路標識	カーブミラー	○	錆
	ガードレール		○	
			○	
路面塗装	道路標示(記号,文字)	横断歩道	○	剥離
		白線(中央,側道)	○	
			○	
路面			-	ひび,ポットホール

具体サービス

- ①画像データから対象設備を自動で識別し、各設備の位置座標を特定し、地図上にマッピング
- ②道路台帳整備様式へ出力
- ③AIによる劣化診断 (道路構造物の錆検出)

KPI (アウトプット指標)

- ①デジタル化した帳票の数
- ②道路構造物の錆検出数

KPI (アウトカム指標)

- ①修繕計画の策定時間
- ②道路情報照会来庁者の窓口対応時間
- ③道路情報照会来庁者の満足度

基本目標
6

協働と連携に基づいてしなやかな 「地域の経営」ができる体制を整えます



事業名	主な事業の内容	前年度費	本年度費	本年度財源内訳				
				国支出	県金	市債	その他特定財源	内ふるさと応援基金
コミュニティセンター整備事業 [沖島コミュニティセンター整備事業]	コミュニティセンター、診療所、消防詰所、公衆トイレを含めた複合施設の整備に向けた実施設計業務を行う	8,635		【債務負担行為】37,419（令和9年度）				
新市庁舎整備事業	新庁舎の2期工事、旧庁舎の解体工事、外構工事を実施し、グランドオープンを予定	4,164,399	2,406,203	-	1,882,000	524,203	-	-
市庁舎南別館施設改修事業	エレベーターの新設工事、建物の改修工事、外構工事を実施し、支所から都市整備部を移転する	297,402	450,846	-	331,500	119,346	-	-
戸籍住民基本台帳事業[コンビニ交付事業]	本籍地が本市であれば、他市に住民登録のある方でも戸籍証明書のコンビニ交付が可能となるよう実施する	-	2,644	-	-	2,644	2,644	-
		【10,202】	【9,859】	【-】	【-】	【2,644】	【2,644】	【7,215】

上段：主な事業の事業費および財源

下段：【】書は予算書事業名全体の事業費および財源

沖島コミュニティセンター整備事業

所管課 総合政策部 まちづくり協働課

【債務負担行為】37,419千円(令和9年度)

【現状と課題】

- 沖島の地域活動の拠点である沖島コミュニティセンターが老朽化により使用に支障をきたしている。
- 診療所や消防詰所、公衆トイレなどの周辺施設も老朽化や狭小なスペースにより機能が低下している。



【取組】

- 整備に向けた実施設計業務を行う。
- コミュニティセンター、診療所、消防詰所、公衆トイレ等を含めた複合施設の整備に向けた地元協議、各種調査。

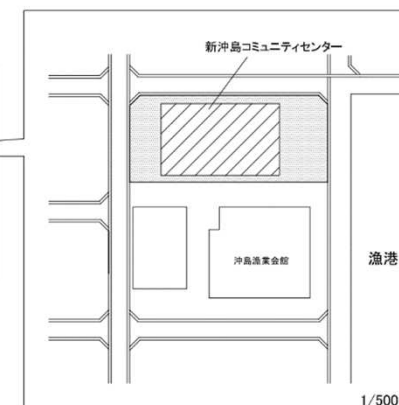
【効果、目指す姿】

- ◆ 地域活動の拠点として安心して利用できる施設
- ◆ 災害時の防災拠点として機能を持った施設
- ◆ 沖島の玄関として来島者と交流できる施設
→ 離島振興・沖島の未来づくり

【今後の予定】

令和8年～9年度 実施設計業務

令和9年～10年度 建設工事



新沖島コミュニティセンター配置図(予定)

新庁舎整備事業

所管課 総務部 管財契約課(市庁舎整備推進室)

【予算額】2,406,203千円
(財源:市債1,882,000千円 その他524,203千円)

【経過】

令和元年度 : 基本計画策定
 令和2~3年度 : 基本設計作成
 令和5年度 : 設計施工一括発注方式による
 入札、実施設計の着手
 令和6年度 : 実施設計完成、1期工事着手
 令和7年度 : 1期工事完了、2期工事着手
 新庁舎供用開始

【令和8年度の取組】

- ・ 新庁舎の2期工事（正面玄関工事）
- ・ 旧庁舎の解体工事
- ・ 南側歩道の改修工事
- ・ 駐車場や駐輪場などの外構工事 など

令和8年12月にグランドオープンを予定



【基本コンセプト】

- 誰もが相談しやすく居心地のよいハートフルな庁舎
- 防災拠点機能を有した連携がとれる庁舎
- 将来の環境変化に柔軟に対応する持続可能性の高い庁舎
- 機能や性能とコストバランスのとれたコンパクトな庁舎

市庁舎南別館改修事業

所管課 総務部 管財契約課(市庁舎整備推進室)

【予算額】450,846千円
(財源:市債331,500千円 その他119,346千円)

【現状と課題】

近江八幡市庁舎整備基本計画において、既存施設の有効活用の観点から南別館を庁舎機能の一部として活用することとしている。庁舎機能の移転に伴う改修工事及び外部倉庫の建替えが必要となる。



【令和8年度取組】

令和7年度に外部倉庫を整備し、令和8年度よりエレベーターの新設工事、内部や外部の改修工事、駐車場などの外構工事を実施する。



【効果】

庁舎機能の集約と都市整備部門・水道事業所など建設関連行政サービスを提供



本籍地証明交付サービス追加業務 (コンビニ交付事業)

拡充

所管課 市民部 市民課

【予算額】2,644千円
(財源:ふるさと2,644千円)

現状

ふるさと応援基金充当

- ・現状コンビニ交付における戸籍証明書(戸籍謄本、戸籍抄本、戸籍附票)については、本市に本籍地があっても、本市の市民しか取得することが出来ず、他市の住民は取得することが出来ない。

取組

コンビニでの本籍地証明交付サービスの追加を行う。

効果

- ①本籍地が本市の方であれば、他市に住んでいる方でも全国約56,000カ所のコンビニで、マイナンバーカードを使用した戸籍証明書の取得が可能になり、手数料が窓口や郵送での請求時より100円安価になる。
- ②本市のDX推進、利便性を示せ、今後の寄附に繋がることを期待できる
- ③郵便請求等の減少が見込まれ、事務負担の軽減につながる。



KPI: 市民以外のコンビニでの戸籍証明出力枚数(最終目標900枚)

年度	R8	R9	R10	R11	R12
目標	80	300	500	700	900

全国の皆様からのふるさと応援寄附金
令和8年度の活用額は

総額44億9,311万4千円



ふるさと応援寄附金
活用事業の紹介

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(1) 自然環境及び地域の歴史的遺産の保全

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	ふるさと応援寄附金		キーワード
			内、ふるさと応援寄附金	キ	
公用車集中管理事業	電気自動車2台の購入	5,824	4,688	③	
環境保全対策事業	市民の環境美化活動に対する自走式草刈機の貸出	4,870	4,870	⑥	
環境保全対策事業	西の湖の水質改善に向けた調査及び手法の検討	12,500	12,500	③	
地球温暖化対策事業	省エネ性能が高い製品への買換えに対する補助	107,500	107,500	③	
地球温暖化対策事業	太陽光発電設備及び蓄電池システム設置への支援	56,000	56,000	③	
地球温暖化対策事業	LED照明への買換えに対する補助	24,500	24,500	③	
地球温暖化対策事業	宅配ボックスの購入に対する補助	4,000	4,000	③	
火葬場施設維持管理事業	長期保全計画に基づく火葬炉修繕工事	8,000	8,000	④	
美化推進対策事業	生ごみ処理器購入補助(補助率拡充)	2,600	2,600	③	
小学校脱炭素推進事業	小学校LED照明器具のリース料	10,126	10,126	①	
中学校脱炭素推進事業	中学校LED照明器具のリース料	2,652	2,652	①	
伝統的建造物群保存事業	伝統的建造物群保存地区の防火及び耐震対策を含む防災計画の策定	4,611	2,306	②	
伝統的建造物群保存事業	伝統的保存地区のまちなみ景観保全修理・修景補助金	12,691	6,346	②	
(1) 全13事業	(1)小計	255,874	246,088	-	

<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ GX・DX推進 ④ 安心安全な生活基盤 ⑤ 高齢者生きがい ⑥ その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(2)医療及び福祉の充実 (1/2)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	ふるさと応援寄附金		キーワード	事業名	ポイント	事業費	ふるさと応援寄附金		キーワード
			内、ふるさと応援寄附金	キ					内、ふるさと応援寄附金	キ	
民間心身障害児者社会福祉施設整備事業	社会福祉法人等が実施する施設整備事業に対する補助	15,351	15,351	④	乳児おむつ等支給子育て支援事業	乳児世帯へのおむつ等の育児用品配達と見守りの実施	21,529	11,529	①		
老人福祉対策事業	米寿・白寿敬老祝い、およびねんりんピック出場激励金	5,274	5,274	⑤	民間保育所及び認定こども園等運営補助事業	保育充実のための保育士配置事業	42,000	42,000	①		
高齢者生活支援事業	高齢者補聴器購入助成	2,000	2,000	⑤	民間保育所及び認定こども園等運営補助事業	使用済みおむつを園が処分するための費用を補助	436	436	①		
一時預かり事業	一時預かり保育の委託	3,348	1,116	①	民間保育所及び認定こども園等運営補助事業	民間保育所等の運営費の一部を補助（上乘せ分）	41,513	38,443	①		
お誕生おめでとう健やか祝金事業	お誕生おめでとう健やか祝金の給付	9,420	8,420	①	民間保育所及び認定こども園等運営補助事業	民間保育所等の運営費の一部を補助	49,815	49,815	①		
保育人材確保事業	保育士の処遇改善に対する補助	30,528	30,528	①	民間保育所及び認定こども園等運営補助事業	地域型保育事業所の運営費の一部を補助（上乘せ分）	8,208	6,256	①		
保育人材確保事業	民間保育所等の新規採用保育士に対する給付金の支給	3,500	3,500	①	民間保育所及び認定こども園等運営補助事業	地域型保育事業所の運営費の一部を補助	9,849	9,849	①		
子ども食堂支援事業	子ども食堂の係る活動に対する支援	3,190	3,190	①	子どもセンター及び子育て支援センター施設維持管理事業	八幡子どもセンターのエアコン改修工事	9,691	9,691	①		

<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ GX・DX推進 ④ 安心安全な生活基盤 ⑤ 高齢者生きがい ⑥ その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(2)医療及び福祉の充実 (2/2)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	ふるさと応援寄附金		キーワード
			内、ふるさと応援寄附金	その他	
市立保育所及び認定こども園運営事業	公立保育所、こども園の安全・安心対策として熱中症対策などの備品を整備	7,994	7,994	0	①
公立認定こども園・保育所施設整備事業	八幡保育所のトイレを改修	31,809	24,109	7,700	①
特定不妊治療費助成事業	不育症治療費に対する助成	200	200	0	①
特定不妊治療費助成事業	先進医療を併用した不妊治療費への助成	1,980	1,980	0	①
感染症予防対策事業	带状疱疹予防接種助成金	5,712	5,712	0	⑤
(2) 全21事業	(2)小計	303,347	277,393	25,954	-

ふるさと納税の返礼品



<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ GX・DX推進 ④ 安心安全な生活基盤 ⑤ 高齢者生きがい ⑥ その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(3)教育及び文化の振興 (1/4)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	ふるさと応援寄附金		キーワード	事業名	ポイント	事業費	ふるさと応援寄附金		キーワード
			内、ふるさと応援寄附金	キ					内、ふるさと応援寄附金	キ	
友好都市交流補助事業	友好都市と交流事業を実施する団体に対する補助金	3,100	3,100	②		小学校外国語教育事業	小学校における外国語教育の充実	2,799	2,799	①	
教育相談事業	教育相談員・専門員、スクールソーシャルワーカー、訪問教育相談員に係る経費	20,495	20,495	①		特別支援教育推進事業	特別支援教育支援員、看護師、特別支援教育介助員に係る経費	77,296	71,791	①	
教育支援ルーム運営事業	フリースクール支援・経営補助金	13,360	12,520	①		小1すこやかサポーター配置事業	新小学1年生に対する学習・生活面でのサポート支援	9,508	9,508	①	
教育支援ルーム運営事業	教育支援ルーム指導員・訪問型教育支援員に係る経費	10,741	10,741	①		臨時講師配置事業	小中学校臨時講師、小学校教科担任制非常勤講師に係る経費	67,547	67,547	①	
小学校教育指導事業	小学校を対象とした西の湖体験学習を実施	615	615	①		生きる力育みプラン推進事業	ICT教育推進に向けた業務支援の実施	6,970	6,970	①	
小学校教育指導事業	小学校の教科担任制推進	495	495	①		学校司書配置事業	学校司書に係る経費	28,014	28,014	①	
小学校教育指導事業	沖島での水環境探究学習を実施	4,913	4,913	①		スペシャルサポートルーム運営事業	スペシャルサポートルームの設置と専任の支援員の配置	37,924	32,124	①	
外国語指導助手（ALT）配置事業	小中学校に対して民間派遣のALTを配置	35,420	35,420	①		中学校部活動強化支援推進事業	部活動体験や教職員の働き方改革による持続可能な運営体制の確立	1,209	1,209	①	

<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ GX・DX推進 ④ 安心安全な生活基盤 ⑤ 高齢者生きがい ⑥ その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(3)教育及び文化の振興 (2/4)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	ふるさと応援寄附金		キーワード	事業名	ポイント	事業費	ふるさと応援寄附金		キーワード
			内、ふるさと応援寄附金	キ					内、ふるさと応援寄附金	キ	
中学校部活動強化支援推進事業	中学校の部活動支援体制の強化にむけた取り組み	106,907	99,963	①	小学校GIGAスクール構想推進事業	校務支援システムの更新	14,834	14,834	①		
地域クラブ活動推進事業	地域クラブ活動に対する公的保障の実施	5,027	1,596	①	小学校GIGAスクール構想推進事業	児童が学習で使用するAIデジタルドリルを整備	5,917	5,917	①		
北里小学校施設整備事業	北里小学校の屋上防水改修工事	4,989	4,989	①	小学校GIGAスクール構想推進事業	校務系システム使用料	66,167	66,167	①		
馬淵小学校施設整備事業	馬淵小学校エレベーターの整備	7,691	7,691	①	小学校GIGAスクール構想推進事業	校務支援システムの更新(追加分)	3,420	3,420	①		
安土小学校施設整備事業	安土小学校の整備	3,541,884	2,361,220	①	中学校施設維持管理事業	学級増に伴う教室等への空調設備整備	3,366	3,366	①		
老蘇小学校施設整備事業	老蘇小学校の健全度等調査	2,249	2,249	①	八幡西中学校施設整備事業	八幡西中学校の整備	403,826	84,840	①		
小学校給食設備整備事業	小学校給食配膳室への空調設備整備	12,315	12,315	①	中学校給食設備整備事業	中学校給食配膳室への空調設備整備	1,141	1,141	①		
小学校教育教材事業	岡山小学校の備品購入(体育館歌詞看板)	429	429	①	中学校GIGAスクール構想推進事業	校務支援システムの更新	4,944	4,944	①		

<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ GX・DX推進 ④ 安心安全な生活基盤 ⑤ 高齢者生きがい ⑥ その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(3)教育及び文化の振興 (3/4)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	ふるさと応援寄附金		キーワード	事業名	ポイント	事業費	ふるさと応援寄附金		キーワード
			内、ふるさと応援寄附金	キ					内、ふるさと応援寄附金	キ	
中学校GIGAスクール構想推進事業	児童が学習で使用するAIデジタルドリルを整備	14,611	14,611		①	放課後子ども教室推進事業	放課後子ども教室学習支援員に係る経費	129	129		①
中学校GIGAスクール構想推進事業	校務系システム使用料及びオンラインプログラミング学習教材使用料	23,543	23,543		①	ふるさと文化振興事業	文化芸術振興団体が実施する事業に対する補助	4,000	4,000		②
中学校GIGAスクール構想推進事業	校務支援システムの更新(追加分)	760	760		①	ふるさと音楽祭振興事業	近江八幡市版音楽祭の実施	10,000	10,000		②
幼稚園運営事業	公立幼稚園の安全・安心対策として熱中症対策などの備品を整備	7,376	7,376		①	アートで広げる子どもの未来プロジェクト事業	芸術鑑賞やアーティスト派遣事業の実施	16,713	16,713		②
幼稚園施設整備事業	八幡幼稚園のトイレを改修	61,776	50,504		①	子ども・若者育成支援事業	若者の起業支援・まちづくりプロジェクトの企画・運営業務委託	10,098	10,098		①
社会教育関係団体育成事業	こども体験推進事業補助金	3,000	3,000		①	図書館運営事業	新図書館システム使用料	8,016	8,016		③
コミュニティスクール・地域学校協働本部事業	地域学校協働活動推進員に係る経費	1,016	1,016		①	読書活動推進事業	暮らしに役立ち、児童の読書支援のための図書、郷土資料等の購入	18,000	18,000		①
家庭教育支援基盤構築事業	家庭教育支援コーディネーター、家庭教育支援員に係る経費	11,320	11,320		①	本のまち!動く図書館事業	移動図書館車の運行による市内全域サービスの実施	12,769	12,769		①

<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ GX・DX推進 ④ 安心安全な生活基盤 ⑤ 高齢者生きがい ⑥ その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

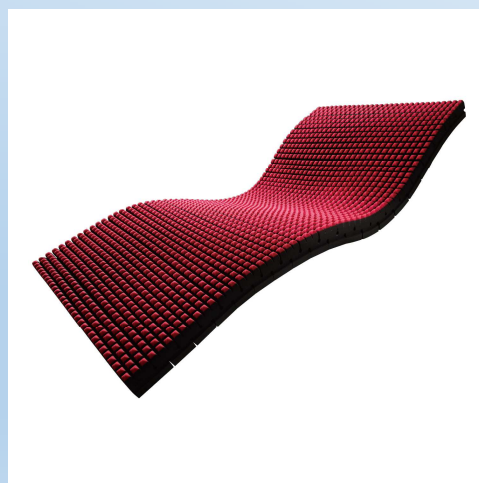
(3)教育及び文化の振興 (4/4)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	ふるさと応援寄附金		キーワード
			内、ふるさと応援寄附金	その他	
図書館施設改修事業	施設修繕計画に基づく近江八幡図書館・安土図書館の改修	29,165	29,165		①
給食センター施設維持管理事業	厨房設備（コンビオーブン）の更新	45,732	45,732		①

事業名	ポイント	事業費	ふるさと応援寄附金		キーワード
			内、ふるさと応援寄附金	その他	
給食センター運営事業	幼稚園・小学校・中学校用飯椀の更新	14,915	14,915		①
(3) 全51事業	(3)小計	4,798,451	3,265,009		-

ふるさと納税の返礼品



ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(4)産業の振興 (1/2)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと	キーワード	事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと	キーワード
			応援基金					応援基金	
シティプロモーション事業	戦略的総合プロモーション業務委託	91,349	91,349	②	製造・加工事業者創出促進事業	新たな商品の製造加工等を行う事業者に対する補助	150,044	150,044	②
NPO活動促進事業	まちづくり団体育成支援業務委託料および補助金	7,360	7,360	②	企業立地促進事業	企業等の立地促進や雇用機会の拡大に対する奨励	195	195	②
畜産業振興事業	近江牛生産・消費に対する補助	121,385	121,385	②	観光振興事業	観光イベントに対する補助	7,950	7,950	②
畜産業振興事業	酪農経営に対する補助	4,500	4,500	②	観光振興事業	観光パンフレットの作成	165	165	②
世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業	農業用施設の維持管理と農村環境保全の活動に対する補助	141,330	35,333	②	観光ブランディング推進事業	出張！お城EXPO in 滋賀・びわこにおける観光PRの実施	1,132	1,132	②
商工業振興事業	クリスマスマーケットの実施に対する補助	1,350	1,350	②	観光ブランディング推進事業	観光プロモーション事業委託	2,973	2,973	②
商工業振興事業	商工業振興基盤確立対策及び商店街・地域商業活性化に対する補助	2,000	2,000	②	観光ブランディング推進事業	DESTINATIONキャンペーンに向けたプロモーション	1,000	500	②
体験型事業創出事業	新たに体験型事業を創業する事業者に対する補助	4,000	4,000	②	観光ブランディング推進事業	観光看板のリニューアル及び新設	1,089	1,089	②

<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ GX・DX推進 ④ 安心安全な生活基盤 ⑤ 高齢者生きがい ⑥ その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(4)産業の振興 (2/2)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	キーワード	
			内、ふるさと応援基金	
ライティングプロジェクト推進事業	八幡堀ライトアップ工 事の舗装本復旧	2,625	2,625	②
(4) 全17事業	(4)小計	540,447	433,950	-

ふるさと納税の返礼品



<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ GX・DX推進 ④ 安心安全な生活基盤 ⑤ 高齢者生きがい ⑥ その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(5)安全及び安心の都市づくり (1/2)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	ふるさと応援寄附金		キーワード	事業名	ポイント	事業費	ふるさと応援寄附金		キーワード
			内、ふるさと応援寄附金	キ					内、ふるさと応援寄附金	キ	
がんばる自治コミュニティ事業	省エネ家電買換えやゴミステーション設置・改修を実施する自治会に補助	3,250	3,250	②		市道維持補修事業	市道パトロール用軽ダンプの購入	2,359	2,359	④	
がんばる自治コミュニティ事業	自治会等の活性化推進事業(ソフト)に対する補助	8,000	8,000	②		施設維持補修事業	J R 安土駅の地盤沈下の原因を調査及び対策工法の比較検討	6,193	6,193	④	
住民防犯活動事業	特殊詐欺対策電話機等購入補助金	1,000	1,000	④		橋梁・トンネル長寿命化修繕事業	橋梁・トンネルの点検・修繕による長寿命化	37,001	10,251	④	
住民防犯活動事業	地域における防犯活動(町内巡回)に対する補助	1,080	1,080	④		単独市道改良事業	野村外周道路の整備	68,000	68,000	④	
住民防犯活動事業	近江八幡駅前に防犯カメラを増設	873	873	④		河川改良整備事業	老蘇地区水路の改修	20,000	20,000	④	
市民バス運行事業	市民バスICOCA利用者、運転免許証返納高齢者にポイント交付	3,531	3,531	③		都市公園施設長寿命化整備事業	都市公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の再整備	98,396	17,696	④	
通学路安全対策施設整備事業	通学路の環境設備、安全対策の実施	15,338	15,338	④		防災活動事業	自治会等の防災資機材整備に対する補助	3,000	3,000	④	
市道維持補修事業	A I を活用した道路附属物デジタル台帳整備及び劣化診断	10,000	5,000	④		防災活動事業	自治会等のAED整備に対する補助(補助率拡充)	500	500	④	

<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ GX・DX推進 ④ 安心安全な生活基盤 ⑤ 高齢者生きがい ⑥ その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(5)安全及び安心の都市づくり (2/2)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	キーワード	
			内、ふるさと応援基金	
消防・防災施設整備事業	一時滞在場所の防災施設整備	35,458	11,820	④
(5) 全18事業	(5)小計	313,979	177,891	-

ふるさと納税の返礼品



<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ GX・DX推進 ④ 安心安全な生活基盤 ⑤ 高齢者生きがい ⑥ その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(6) デジタル改革、行政改革

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと	キーワード
			応援基金	
行政推進事業	未来の近江八幡市を考える講演会の開催(主に職員向け)	236	236	②
いきいき職員育成事業	未来の近江八幡を考えるチームおうみはちまん海外派遣・語学研修	3,309	3,309	②
いきいき職員育成事業	未来の近江八幡市を考えるチームおうみはちまん講演会の開催	792	792	②
債権対策事業	滞納者の預貯金調査事務の電子化	1,573	1,573	③
電算システム維持管理事業	庁内無線LANネットワーク機器の更新	46,351	46,351	③
電算システム維持管理事業	庁内LAN端末の更新及びNASネットワーク記憶装置の集約化	11,962	11,962	③

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと	キーワード
			応援基金	
デジタル行政推進事業	端末の庁外利用に向けたシステム改修及び生成AIの導入	9,144	9,144	③
がんばる自治コミュニティ事業	自治会等のデジタル化促進事業に対する補助	700	700	②
コンビニ交付事業	戸籍証明書のコンビニにおける交付サービスの追加	2,644	2,644	③
介護認定審査会共同設置事業特別会計繰出金	介護認定審査会資料の電子化	14,499	9,499	③
セーフティネット支援対策等事業	生活保護業務の電子化	7,570	5,462	③
母性育成指導事業	乳幼児健診における子育て支援アプリの導入	2,221	1,111	③
(6) 全12事業	(6)小計	101,001	92,783	-

<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ GX・DX推進 ④ 安心安全な生活基盤 ⑤ 高齢者生きがい ⑥ その他



滋賀県近江八幡市総務部財政課

〒523-8501

滋賀県近江八幡市桜宮町236番地

TEL 0748-36-5750

FAX 0748-32-3237

E-mail 010412@omihachiman.lg.jp

市HP <https://www.city.omihachiman.lg.jp>